

令和2年1月18日19日 説明会・ワークショップ結果

【凡例】

青	意見、提案、こうしたほうがいい
桃	反対、直してほしい
黄	疑問、よくわからない

◎ワークショップでは、公共設再生計画(平成26年3月)の見直し案について概要を説明し、その後、公共施設の老朽化対策に関して意見交換を実施しました。  
 ◎その中で出された意見等をポストイット(用紙)に記入いただき、説明資料の該当部分に張り付けていただきました。  
 ◎ここでは、いただいたご意見等に関する現時点での対応について記載しています。  
 ◎なお、ご意見・感想等の表記は、原則として記載されたままの表現としています。(一部判定不可能な部分は修正)

説明資料	色分け	ご意見・感想等	公共施設再生計画の見直し案に対するご意見への対応等
新習志野駅勢圏	青	・芝園倉庫のみにしないでほしい	左記のご意見・感想等は、まちづくりに関するものや、「公共施設再生計画」の対象施設以外についてのご意見、ご要望であることから、庁内の関係部署と情報を共有させていただき、対応等については今後検討してまいります。
	青	・秋津の住宅街に商店がない	
	青	・埋立地にマンションが建てられるようにしてもらいたい	
	青	・ムダな歩道橋が秋津多い 撤去してもいい	
	黄	・秋津1丁目(緑道橋)の老朽化対策はできているのか？	
	青	・秋津にポートピアがあることがデメリットである	
	青	・秋津は福祉ゾーンに分かれている	
	青	・都市計画・都市景観などについては、大学の関係部門との連携を常時とって進めてほしい	
	青	・秋津地域の活性化策を地域と行政で考えて欲しい	
	青	・施設の数減らずにそれぞれをコンパクトにしてはどうか	コンパクトな施設を緊密に配置するという方法も一つの考え方であると認識していますが、一方では、維持管理、運営コストの効率性に難点があると考えています。ご意見を踏まえ、今後の見直し作業の中で検討してまいります。
	青	・人口減少前提だがいかに 子どもを増やす努力が、市に見えない	公共施設のこれからのあり方を検討するにあたって、将来の人口の推移をどのように見通していくのかという点は、非常に重要な検討項目と考えています。ご意見等を参考にさせていただきつつ、引き続き、実態を踏まえた人口推計方法等を検討してまいります。
	青	・まず、人口増加の知恵をお願いしたい	
	青	・少々高額でも市の再生(人口増加)のアドバイザーを呼んでほしい	
	青	・秋津の人口が減る一方というのは疑問がある	
	青	・今日の会場の「ゆいまーる」も集会・会議の場として以るがあまり利用されていないと思うが、高齢者(入居者・利用者)と周りの福祉施設、保育所利用者・子ども園児等がふれ合える場として活用できたのでは	民間施設の有効活用策のご提案であると受け止めさせていただき、今後の有効活用に向け検討してまいります。
	青	・秋津地区は公共福祉施設も多く、また、土地も広大にある。計画にあたり、資産(土地)売却は最小限にし、できるだけ公共用地を保存していただきたい	資産の有効活用については、「公共施設再生計画」の基本的な考え方は継承してまいります。老朽化対策の財源を確保する必要があることから、将来の利活用の方針等を検討・確認したうえで、未利用、低利用の資産(土地)については原則有効活用を実施します。なお、売却・貸付は未利用地を対象に行うものであり、公共施設の敷地として利用するものについては、適切に維持管理・利用してまいります。
青	・公共施設は近くにあるべき(負担は増加しても良い)	「公共施設再生計画」の基本的な考え方は継承し、負担を将来世代に先送りしないことを目的とし、公共施設のあり方を検討してまいります。	
青	・秋津小学校がどうなるのか	現在、習志野市内各地において開発の動きがあり、その動向によっては「まちの姿」が変わることが想定されます。したがって、学校施設の見直しにあたっては「学校施設再生計画」と連携を図りながら、その状況により事業計画を適宜見直してまいります。	
青	・秋津小学校を残してほしい		
桃	・香澄市営住宅 長寿命化改修以前に、他の公営住宅や民間コンクリート住宅と同じ周期で外壁塗装工事・配管工事・その他が行われているのか？	公営住宅の改修については、「習志野市営住宅等長寿命化計画」に基づく長寿命化改修を実施していますが、毎年の財政状況により、実際の工事内容等は変動しています。したがって、他の公営住宅や民間コンクリート住宅と同じ周期では行っておりません。	
谷津・JR津田沼駅勢圏	青	・モリシアとJR津田沼の間の公園はムダ	左記のご意見・感想等は、まちづくりに関するものや、「公共施設再生計画」の対象施設以外についてのご意見、ご要望であることから、庁内の関係部署と情報を共有させていただき、対応等については今後検討してまいります。
	黄	・習志野市の観光の売りものでもある「谷津干潟観察センター」は入場無料にして、にぎわいを作り出し、市民のいこの場として活用すべし	

## 令和2年1月18日19日 説明会・ワークショップ結果

【凡例】

青	意見、提案、こうしたほうがいい
桃	反対、直してほしい
黄	疑問、よくわからない

◎ワークショップでは、公共設再生計画(平成26年3月)の見直し案について概要を説明し、その後、公共施設の老朽化対策に関して意見交換を実施しました。  
 ◎その中で出された意見等をポストイット(用紙)に記入いただき、説明資料の該当部分に張り付けていただきました。  
 ◎ここでは、いただいたご意見等に関する現時点での対応について記載しています。  
 ◎なお、ご意見・感想等の表記は、原則として記載されたままの表現としています。(一部判定不可能な部分は修正)

説明資料	色分け	ご意見・感想等	公共施設再生計画の見直し案に対するご意見への対応等
谷津・JR津田沼駅勢圏	黄	・少子高齢化で人口が減るのは想像つくが、増えるのはなぜ？	人口推計については、「習志野市人口推計結果報告書(令和元年5月)」に基づいて作成しています。本報告書は生存率、移動率、出生率などの各条件を踏まえた推計方法であり、今後開発が予定されている開発人口も考慮した推計です。谷津・JR津田沼駅勢圏は諸条件やタワーマンション建設により、人口増等が見込まれております。
京成津田沼駅勢圏	青	・菊田公民館を残して欲しい	公民館の整備方針については、関連計画である「生涯学習施設改修整備計画」を基本としております。詳しくは次のURLをご覧ください。 <a href="http://www.city.narashino.lg.jp/kosodate/kyoiku/soshiki/shogaigakushu/syogaigakusyusisetukeikaku.html">http://www.city.narashino.lg.jp/kosodate/kyoiku/soshiki/shogaigakushu/syogaigakusyusisetukeikaku.html</a>
	青	・鷺沼が人口がこんなに増えるなんて知らない人が多い	人口推計については、「習志野市人口推計結果報告書(令和元年5月)」に基づいて作成しています。本報告書は生存率、移動率、出生率などの各条件を踏まえた推計方法であり、今後開発が予定されている開発人口も考慮した推計です。
	桃	・「開発行為が現在段階で見直す、検討する」というが手遅れになることは確定 小規模開発者まで含めて「開発者負担」を適切に行うべき	左記のご意見は、「公共施設再生計画」の見直しに関する内容ではないことから、ご意見は庁内の関係部署と情報を共有させていただき、対応等については今後検討してまいります。
京成大久保駅勢圏	青	・プラッツの過程の検証が必要	左記のご意見は、「生涯学習複合施設 プラッツ習志野」の事業の進め方及び運営に関するものであり、「公共施設再生計画」の見直しに直接的には関係する内容ではないことから、ご意見は庁内の関係部署と情報を共有させていただき、対応等については今後検討してまいります。
	青	・先行事例としてのプラッツの検証をすべき	
	青	・プラッツ ノウハウがないのではないか	
	青	・プラッツ習志野をもっと多目的に使うべき	
	青	・プラッツ習志野が使いにくい 建設する前に良く検討すること地域の意見、専門を聞いて欲しい ※プラッツ習志野に限らず※結果を分析して欲しい	大久保地区公共施設再生事業は公共施設等再生推進審議会において専門家のご意見を聞くとともに、平成25年度から説明会・意見交換会、シンポジウム、ワークショップ、アンケート等を実施し、市民の皆様の声を聴いてまいりました。今後も市民の皆様のご意見をうかがう機会を設けつつ、事業を進めてまいります。 なお、大久保地区公共施設再生事業のこれまでの取り組みについて、詳しくは次のURLをご覧ください。 <a href="http://www.city.narashino.lg.jp/joho/matidukurisanka/koukyou_saisei/project/index.html">http://www.city.narashino.lg.jp/joho/matidukurisanka/koukyou_saisei/project/index.html</a>
	黄	・人口の分布がキレイに2分化されるのが不思議	人口推計については、「習志野市人口推計結果報告書(令和元年5月)」に基づいて作成しています。本報告書は生存率、移動率、出生率などの各条件を踏まえた推計方法であり、今後開発が予定されている開発人口も考慮した推計です。
実籾駅勢圏	青	・「人口」を考えるとところからスタートするのは地方自治体としては基本でしょうが①人口の中身モデル男女別、年齢別世帯のタイプにより施設へのニーズはことなる。②定住人口→交流人口→関係人口へと考え方広げるべき部分も	公共施設のこれからのあり方を検討するにあたって、将来の人口の推移をどのように見通していくのかという点は、非常に重要な検討項目と考えています。ご意見等を参考にさせていただきつつ、引き続き、実態を踏まえた人口推計方法等を検討してまいります。
市域全体	青	・図式化すると分かりやすい	パブリックコメント(案)の参考資料に市内施設図及び人口推計図を掲載しました。
	青	・消防署は長寿命化できたのではないかな？	築年数、構造躯体の健全性、劣化状況を勘案した結果、長寿命化は難しく、建替することが適切であるとの判断をいたしました。
	桃	・習志野市の幼稚園は給食もあり、30年位までは評判が良かったのに、保育内容・保育時間の面から、私立幼稚園よりも、預けにくい面があったため、児童数が減少し維持がむずかしくなった。民間に流れる前に対策が欲しかった。	左記のご意見は、「公共施設再生計画」の見直しに直接的には関係する内容ではないことから、ご意見は庁内の関係部署と情報を共有させていただき、対応等については今後検討してまいります。
	黄	・人口 津田沼増えて秋津は減っている	公共施設のこれからのあり方を検討するにあたって、将来の人口の推移をどのように見通していくのかという点は、非常に重要な検討項目と考えています。ご意見等を参考にさせていただきつつ、引き続き、実態を踏まえた人口推計方法等を検討してまいります。
	黄	・スケジュールがタイミングのポリシーがわかりにくい	パブリックコメント(案)の第2章に事業計画立案及び事業費試算にあたっての前提条件についての説明を記載しました。



令和2年1月18日19日 説明会・ワークショップ結果

【凡例】

青	意見、提案、こうしたほうがいい
桃	反対、直してほしい
黄	疑問、よくわからない

◎ワークショップでは、公共設再生計画(平成26年3月)の見直し案について概要を説明し、その後、公共施設の老朽化対策に関して意見交換を実施しました。  
 ◎その中で出された意見等をポストイット(用紙)に記入いただき、説明資料の該当部分に張り付けていただきました。  
 ◎ここでは、いただいたご意見等に関する現時点での対応について記載しています。  
 ◎なお、ご意見・感想等の標記は、原則として記載されたままの表現としています。(一部判定不可能な部分は修正)

説明資料	色分け	ご意見・感想等	公共施設再生計画の見直し案に対するご意見への対応等
第1章	青	・長寿命化いい考えだと思う	左記のご意見・感想等は、まちづくりに関するものや、「公共施設再生計画」の対象施設以外についてのご意見、ご要望であることから、庁内の関係部署と情報を共有させていただき、対応等については今後検討してまいります。
	青	・世代間交流か	
	青	・避難所の運営の充実(多文化への対応)	
	青	・人口を増やすような施策を考えるべき、子育て世代を増やすことを考える	
	黄	・全体構造で見るべき	
	青	・施設(公共の建物)から、スタートする時に、それらはこれからのまちづくり(習志野の場合はリニューアル)まち全体のリニューアルの核になるものだから「マスタープランにもとづき」だけでなく面→線→点のシナリオが必要だろう	
	桃	・人口の変化に伴ってマスタープランの区割は、適切?	
	青	・目的をしっかりと示して欲しい	パブリックコメント(案)の第1章に目的及び目標について記載をしました。
	青	・機能の説明を明確にすべき	パブリックコメント(案)の第1章に目標を実現するための老朽化対策の基本方針に説明をし際しました。
	青	・金を集める案の提示	パブリックコメント(案)の第1章に目標を達成するための手段と事業手法について、図表を掲載し、事業手法を例示しました。
	青	・公共施設でもうける仕組み	
	青	・市の未来に関する計画を施設面だけ(ハード)の観点のみで論ずるのは片手落ちであり、(ソフト)の面から、人々の住み良さの面でどうしたらよいか計画を立てて欲しい	「公共施設の再生」は、上位計画である長期計画の基本構想における「重点プロジェクト」に位置付けられており、まちづくりの一環の施策となっています。いただいたご意見は、非常に重要なテーマであると考えていることから、今後の検討において、関係各課との情報共有、連携に努めてまいります。ご意見の内容を踏まえパブリックコメント(案)の第5章に「将来のまちづくりを見据えた計画の策定と見直し」について記載しました。
	青	・新しい施設を作るよりも、今ある施設を利用率を上げることに注力すべき	施設の利用率を上げることは、利用1件当たりのコストを低下させることに繋がるとともに、利用料金収入の増加にも資することから、利用率の増加に向けて取り組みます。
	青	・第2次で統廃合の計画は白紙に理解 第2期の振返り、見直しの際に統合が検討するときに以下を含めて欲しい。 ①教育の質を維持 ②通学圏内を考え(距離・安全面)て頂きたい ③廃止した跡を含めしっかり計画	パブリックコメント(案)において、状況の変化等に応じた適宜適切な事業計画の見直しについて記載しました。その際、「学校施設再生計画」との綿密な連携による作業を進めるものとし、パブリックコメント(案)の第5章に本計画の推進体制及び将来のまちづくりを見据えた計画の策定と見直しについて記載しました。
	青	・機能変更できるための設備	事業実施時における具体的な事業計画の検討において、各事業に適した設備等の検討や多世代が利用によるメリットなども併せて検討し、各事業に適した手法、手段を採用していきます。
	青	・ITの活用での安全確保	
	青	・世代間交流⇒複数化のメリット	
	青	・少人数の利用も想定した利用も	
	青	・PDCAのCができない	第1期計画期間(平成26年度～令和元年度)における実績と課題については、パブリックコメント(案)の第2章に記載をしました。また、計画の進行管理については、パブリックコメント(案)の第5章の「第2次公共建築物再生計画の推進に向けて」に記載しました。
	青	・PFIなのか? 指定管理なのか? 方法の調査が必要	官民連携手法については、具体的な事業計画の検討においては各事業に適した手段、手法を採用していきます。また、パブリックコメント(案)の第5章に官民連携の推進に関する記載をし、事業実績の調査分析に基づく効果測定や事業検討段階におけるプロセス検証などの実施について記載しました。
青	・PFIのリスク整理		
桃	・官民連携(PFI)に問題がある		
桃	・機能統合により発生した未利用地→原則 売却・貸付 財源化という目的のために機能統合を図っているのでは?	本計画の目的は、公共サービスを継続的に提供すること、持続可能な都市経営を実現すること、将来世代に負担を先送りしないことです。機能統合及び財源確保の取り組みはその為の手段であり、目的ではありません。	
桃	・施設(建物)の規模を集約して余った土地を売却して財源を確保するというのは大反対! パブリック スペースの確保はいかに困難か! よくご存じのハズだが	公有資産の売却・貸付等の財源化は、将来的な利活用方針の確認等を行ったうえで実施するものです。したがって、将来的に公共サービスのために利活用を予定する用地については、適切に維持管理・利用してまいります。	

令和2年1月18日19日 説明会・ワークショップ結果

【凡例】

青	意見、提案、こうしたほうがいい
桃	反対、直してほしい
黄	疑問、よくわからない

◎ワークショップでは、公共設再生計画(平成26年3月)の見直し案について概要を説明し、その後、公共施設の老朽化対策に関して意見交換を実施しました。  
 ◎その中で出された意見等をポストイット(用紙)に記入いただき、説明資料の該当部分に張り付けていただきました。  
 ◎ここでは、いただいたご意見等に関する現時点での対応について記載しています。  
 ◎なお、ご意見・感想等の表記は、原則として記載されたままの表現としています。(一部判定不可能な部分は修正)

説明資料	色分け	ご意見・感想等	公共施設再生計画の見直し案に対するご意見への対応等
第1章	黄	・「複合化」をかかげているが、A3(110施設の事業計画)の中には、何も示されていないが いかに？	パブリックコメント(案)の第3章に各施設の事業計画を記載しました。
	黄	・福祉施設も長寿命化か？	
	黄	・人口減少前提偏在している(市内でも)この視点がわかりにくい	パブリックコメント(案)の第4章に人口についての今後の見通しについて記載するとともに、参考資料編に人口推移の図を掲載し、分かりやすい表記に努めました。
第2章	青	・跡地利用のビジョンを説明すべき	左記のご意見・感想等は、まちづくり全般に関するご意見であることから、庁内の関係部署と情報を共有させていただき、対応等については今後検討してまいります。
	青	・市庁舎周辺を核として考えて整理が必要	
	青	・各コミュニティに必要な機能を整理する	
	青	・長期的な収支の検討	
	青	・税金を上げて良いから金を使う(統廃合ナシ 建替)	
	黄	・公共施設への投資予算はどのように決まっているのか。その予算を今後確保できるのか	
	桃	・改築する年数を決めても、災害での修繕が入ってくるので予算が足りなくなって、おそろ かになりそう	
	青	・多様な視点での意見交換	パブリックコメント(案)の第5章に本計画の推進体制について記載し有識者会議との関連を明記しました。また、市民に対する取り組みとして積極的な情報公開による問題意識の共有化及び市民協働の推進について記載しました。
	青	・専門家の人の意見⇒学ぶ場	
	青	・子ども女性の視点を大切にする	
	青	・秋津サッカー場・秋津野球場のトイレを様式化するなど、世界レベルのチームを呼び込む のに相応しいものにしてほしい	事業実施時における具体的な事業計画の検討において、施設所管課が事業に適した設備等を含めた検討を行い、適切な手法、手段の採用について検討することになります。
	青	・避難所の視点が必要	パブリックコメント(案)の第1章の老朽化対策の基本方針において、避難所機能の強化について記載しています。
	黄	・トイレの和式・水洗でもないものがまだある	学校施設のトイレ改修については「習志野市第2次学校施設再生計画」(策定作業中、パブリックコメント実施済み)をご参考ください。そのほかの公共建築物のトイレ改修については、大規模改修等に併せて対応を計画しています。
	黄	・どこの学校がいつやるのか、どういう判断でどこが優先されているのか	事業実施時期の判断については、パブリックコメント(案)の第2章に事業計画立案のための目標耐用年数を考慮した工事種類の分類について記載しました。また、第3章に各施設ごとの事業計画を記載しました。学校については「習志野市第2次学校施設再生計画」(策定作業中、パブリックコメント実施済み)も併せてご参考ください。
	青	・30%から20%になった具体的理由	「公共施設再生計画(平成26年3月)」と同様に、従来型で試算した事業費と過去の実績の事業費との比較により削減割合を算出しました。具体的には、パブリックコメント(案)の第2章の事業費の効果額に関する説明をご確認ください。
	青	・カタカナ英語の使い方	当日配布した資料の「ロードマップ」という表現を見直し、パブリックコメント(案)では、名称案を「第2次公共建築物再生計画」へ変更しました。
	青	・改築と建替えの表現の統一	パブリックコメント(案)では、建替に表現を統一するとともに、第2章に言葉の定義を記載しました。
青	・スケルトンにしやすい	スケルトン・インフィルの考え方は、平成24年5月に策定した「公共施設再生計画基本方針」の中で、施設の複合化・多機能化を進める上での重要な手法として位置づけられています。	
黄	・設計施工に対してプロの知識を入れる	計画策定にあたっては技術職で構成された施設再生課と連携を図っているほか、設計施工は施設再生課が担当しています。	
黄	・年数の考え方 元々の考えが間違っていたのでは	今回の見直しでは建築物の耐用年数を見直し、減価償却年数ではなく、公共建築物の建築後の経過年数などを勘案する中で「目標耐用年数」を設定しております。	
黄	・構造物の耐用年数と減価償却年数は違う		
黄	・耐用年数は $\sigma_{ca}$ (コンクリート許容応力圧縮度)より部材の保全の周期の方が重要		
			今後の見直し作業において、研究・検討してまいります。

## 令和2年1月18日19日 説明会・ワークショップ結果

【凡例】

青	意見、提案、こうしたほうがいい
桃	反対、直してほしい
黄	疑問、よくわからない

- ◎ワークショップでは、公共設再生計画(平成26年3月)の見直し案について概要を説明し、その後、公共施設の老朽化対策に関して意見交換を実施しました。
- ◎その中で出された意見等をポストイット(用紙)に記入いただき、説明資料の該当部分に張り付けていただきました。
- ◎ここでは、いただいたご意見等に関する現時点での対応について記載しています。
- ◎なお、ご意見・感想等の表記は、原則として記載されたままの表現としています。(一部判定不可能な部分は修正)

説明資料	色分け	ご意見・感想等	公共施設再生計画の見直し案に対するご意見への対応等
第5章	青	・施設だけの議論ではなく、まちづくりとして市民と意見を交換すべきではないか	左記のご意見・感想等は、まちづくりに関するものや、「公共施設再生計画」の対象施設以外についてのご意見、ご要望であることから、庁内の関係部署と情報を共有させていただき、対応等については今後検討してまいります。
	青	・まちづくりとの関連の説明を具体的にに入れて欲しい	
	青	・これからのビジョンを明確にする	
	青	・長期計画の内容を説明して欲しい	
	青	・地域のよさを残すためにも、市民の意見をしっかり聞くべき	
	青	・ハッピーバスの本数が少ない	
	青	・小学校区再編に伴うコミュニティ単位(まちづくり会議)との区域誤差(づれ)	
	青	・都市計画と連動すべき	
	青	・災害時にかかるリスクもお金に換算してくれるとわかりやすいと思う	
	青	・意見(パブコメ)をだしたら反応を返してほしい	
	青	・パブコメの意見の結果を広く公開してほしい	
	青	・市民の意見をどのように反映させるか	
	桃	・パブコメの意見がどのようなものがあつまっているか	
	黄	・パブコメなどではコメントしても意見が反映されない。どのように対応されたかもわからない。	
	桃	・今回参加する人で優先順位を決めた後に、参加者以外からも承認される必要があるのでは？	計画についてはパブリックコメントを実施し、広く意見をいただきます。
	青	・庁内連携が必須	今回の見直しにあたっては資産管理室と各施設所管部局との綿密な連携による作業を進めました。また、パブリックコメント(案)の第5章に本計画の推進体制について記載しました。
	黄	・他の課との連携が見えてこない	
	青	・利用のみの市民の施設利用 運営に参画すべき	パブリックコメント(案)の第5章に、市民に対する取り組みとして積極的な情報公開による問題意識の共有化及び市民協働の推進について記載しました。
	桃	・機能を向上させるために市民が成長する運営方法	
	青	・小学校の多機能で余裕教室を地域利用する場合の安全性(保護者の理解)	「公共施設再生計画(平成26年3月)」の策定時に、教育委員会と連携し、学校施設の複合化を進めるための原則として「学校施設の複合化4原則」を定めました。地域利用においてもこの原則に基づく対応を行っていくこととしています。
青	・長期的な視点でのコストを考える	パブリックコメント(案)の第5章に今後の取り組みとして地方公会計制度改革の取り組みと連携の強化について記載しました。	
青	・言葉の定義	パブリックコメント(案)の各章末に用語解説を記載しました。なお、「建替」「改築」については建替に表現を統一するとともに、第2章に言葉の定義を記載しました。	
青	・表現のずれを修正する		
青	・具体的な話 個々の施設の話をして欲しい	パブリックコメント(案)の第3章に各施設ごとの事業計画を記載しました。	
青	・ワークショップ形式はよくない	市役所からの説明とそれに対する質疑だけでなく、市民の皆様同士の意見交換を行っていただくことで、様々な考え方の気づきや、多様な意見をいただくためにワークショップ形式で実施しました。	
桃	・計画の透明性の確保	パブリックコメント(案)の第5章に市民に対する取り組みとして積極的な情報公開による問題意識の共有化について記載しました。	
桃	・ロードマップから具体的な事業計画に落としこむところが見えづらい	パブリックコメント(案)の第3章に各施設の事業計画を記載しました。	
黄	・20年後のイメージを浮かべる意味が無いのでは	魅力あるまちづくりを見据えた検討は重要であることから、パブリックコメント(案)の第5章に「将来のまちづくりを見据えた計画の策定と見直し」について記載しました。	



## 令和2年1月18日19日 説明会・ワークショップ結果

【凡例】

青	意見、提案、こうしたほうがいい
桃	反対、直してほしい
黄	疑問、よくわからない

◎ワークショップでは、公共設再生計画(平成26年3月)の見直し案について概要を説明し、その後、公共施設の老朽化対策に関して意見交換を実施しました。  
 ◎その中で出された意見等をポストイット(用紙)に記入いただき、説明資料の該当部分に張り付けていただきました。  
 ◎ここでは、いただいたご意見等に関する現時点での対応について記載しています。  
 ◎なお、ご意見・感想等の標記は、原則として記載されたままの表現としています。(一部判定不可能な部分は修正)

説明資料	色分け	ご意見・感想等	公共施設再生計画の見直し案に対するご意見への対応等
第5章	黄	・事前資料を示した上で議論をすべき	今回はホームページにて資料を公開しましたが、今後はチラシ等に事前資料の公開方法について記載する等の対応を検討します。
	黄	・よくわからない 具体性がない	説明会・ワークショップは概要説明であったため、説明が不十分なところもあったと思います。いただいた意見を参考にパブリックコメント(案)を作成し、2月15日より公開いたしますので、そちらをご確認ください。
	黄	・耐震性は？	パブリックコメント(案)の第2章に耐震安全性を含めた対象施設に関する劣化状況評価及び構造躯体の健全性の状況に関する資料を掲載しました。
概要	青	・一覧にしていると分かりやすい	パブリックコメント(案)の第2章に前提条件に基づく事業計画【概要】を一覧表で掲載したほか、第3章に各施設ごとの事業計画を記載しました。
	黄	・一覧に順序と金額を併記してほしい	
	青	・金額をかけるところについてはよりていねいに	
	黄	・A3(110施設の事業計画)の中で施設の統廃合に関する情報が示されているがいかにか？	
	黄	・事業計画一覧に私立化・廃止を記入	
	黄	・ロードマップの言葉を見直すべき	本計画の名称案を「第2次公共建築物再生計画」へ変更しました。
説明会	青	・市長の参加を求める	情報公開、説明会などの方法については、今回のご意見等を参考にさせていただき、できる限り有意義な内容になるように研究・検討してまいります。
説明会	青	・PFIだけの説明会をして(要素を分けて複数回開催)	
説明会	青	・主催側の出席者(総合政策課 都市計画課)を含めて開催すべき	
説明会	青	・説明会を主催者側の出席者を見直して、また、開催すべき	
説明会	青	・決まったものを説明されただけで、なにが求められているのかわからない	
説明会	青	・今回の説明会はアリバイづくりのように感じる	
説明会	青	・当面の5年先に向けての動き(計画)についての地域に十分説明したうえで進めていく必要があると思う(十分な説明会)	
説明会	青	・既存の集まりに対して広報する	周知の方法などについては、より多くの市民の皆さまに参加いただけるように、引き続き、検討してまいります。
説明会	青	・人のつながりを大切にされた広報	感想
説明会	青	・公共施設再生計画の大枠についてはおおむね分かった	感想
説明会	青	・人口推計・流出・老朽化・資金etc	感想
説明会	青	・2020/1/19に説明された内容については、細かな数値は別として理解した(分かった)今後の興味は当地区に存在する施設の再生計画内容といえる	パブリックコメント(案)の第3章に各施設ごとの事業計画を記載したほか、参考資料に地域別施設配置図並びに人口推計及び施設配置の変化を記載しました。